

地域産業復興 支援事業

県では、今年度より、中小企業の皆さんの技術課題の解決や商品開発を支援するため、東北大学大学院の堀切川一男教授をアドバイザーに迎え、「御用聞き訪問」等による支援を行っています。



Dr. Hokkirigawa

堀切川教授は、中小企業との連携によりこれまで60件以上の新商品開発・事業化の成果を生み出しており、その産学官連携による支援は「仙台堀切川モデル」と呼ばれ、全国に広く知られています。

※開発商品例：滑りにくいサンダル、仙台づけ丼

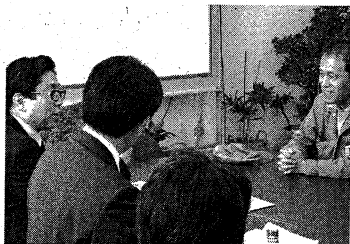


東北大学大学院 工学研究科
堀切川一男教授

県内各地で実施している、堀切川教授の「セミナー」や「御用聞き訪問」を通して、「最先端技術ではなく、中小企業がすぐに実用化できるアイデア重視の商品開発の大切さ」や「低めの目標設定による早期の市場投入のメリット」といった、堀切川教授の商品開発に対する考え方に、多くの企業が共感し、自社でもぜひ商品開発に取り組みたいという声が多数あがっています。

今年度はこれまでに15社の企業支援を行いました。その中から複数の企業が商品開発の取り組みを始めており、南相馬市で機械加工を行う(株)タカワ精密では「名刺サイズの靴べら」を、会津若松市で漆器を作る(株)三義漆器店では「女性向けのカトラリーセット(フォーク、スプーン等)」をそれぞれ開発しているところです。

県では、今後、本事業で開発された商品の流通面を支援する予定で、道の駅や物産館などの販売先の確保、商品デザインの支援、さらには開発商品群をまとめたブランド化など、商品開発から流通までをトータルで支援していきます。



▲タカワ精密

問 県庁産業創出課
☎024(521)7283